

16

げつようび

かみさまの しょうにん かみさまの しもべ

イザヤ
43章 10節

あなたがたはわたしの証人、——主の御告げ——わたしが選んだわたしのしもべである。これは、あなたがたが知って、わたしを信じ、わたしがその者であることを悟るためだ。わたしより先に造られた神はなく、わたしより後にもない。

人はだれでも、幸せになることを望みます。それゆえ、自分が持っている幸せの基準のとおり熱心に勉強して、お金を貯めます。結婚をして成功するために、絶え間なく努力することもあるでしょう。名誉を得るために、手段を選ばない場合も多いです。ところが、そのようになれば幸せになると思っていた基準のゆえに、成功者、エリートにむしろ問題が生じています。理由も分からないまま、苦しみの中を生きていきます。

人は神様に会ってこそ幸せになることができます。どんなことも、神様に代わることはできません。しかし、人の力では神様を知ることも、会うこともできないから、神様が直接、唯一の方法をくださいました。キリストを送ってくださったのです。この約束によって救われた私たちは、聖書の人物のように福音を伝える証人です。

聖書のレムナント7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）は、時代ごとに神様が生きておられることと福音を伝えました。ヘブル11章に出てくる信仰の人々は、神様の願いを成し遂げる証人として、主人である神様のみことばに従うしもべとして現場を生かしました。また、ローマ16章の重職者は、殉教することもありましたが、結局ローマ福音化に用いられる証人になりました。いまは私たちが神様の証人、神様のしもべとして用いられるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様！神様の願いを成し遂げる者として呼んでくださってありがとうございます。世界福音化に用いられる神様の証人、神様のしもべとなりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かいてみよう

下の欄に、福音であるイエス・キリストの力についてのみことばの聖書箇所が書いてあります。聖書から見つけて、書きましよう。心に残るみことばを暗唱しましょう。福音が必要な友だちに伝えましよう。

使徒4章12節のみことば	ヨハネ1章12節のみことば
ローマ5章8節のみことば	ヨハネ5章24節のみことば
ヨハネ14章6節のみことば	ローマ8章2節のみことば
1ヨハネ3章8節のみことば	マルコ10章45節のみことば

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

いやしの みことば

へブル 4章 12節

神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判断することができます。

科学と医療技術は、おどろくほど発展したのですが、精神問題は、より一層、深刻化しています。技術の発展と便利な生活が、まことの幸せを与えることはできないからです。このような世の中をいやす方法が、神様のみことばに正しく集中することで、へブル人への手紙には、神様のみことばを両刃の剣だとたとえてあります。私のたましいと霊、関節と骨髄をいやすだけでなく、心と考えまでいやす力があるからです。聖書のみことばは、いのちがあります。このみことばに正しく集中すれば、神様が直接、私の考え、心を正しくしてください。私が変わることができなくて、医師がなおすことができないことまでいやすれます。

正しく集中する方法があります。1つ目、みことばを読んで心に刻む黙想、2つ目、みことばを覚えて刻印させる暗唱、3つ目、メッセージをしっかりと聞いて記録しながら、みことばに正しい集中をすることです。この3つで神様が私のすべてをいやすくださる神様だという事実を体験するようになるでしょう。すべてのことを感謝に変える祈りもいっしょにするなら、私の考え、心を神様が守ってくださる答えを受けます。これは最も大きな答えです。これからは、私をいやすくださる神様のみことばと祈りですべてを集中する時間を持ちましょう。

きょうのみことば

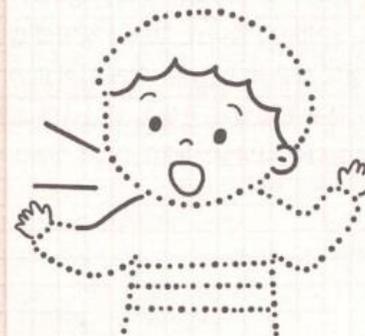
きょうのいのり

神様、みことばで、私をいやすくださり、祈りで私の考えと心を守ってくださる神様を体験させてください。神様に集中するように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。
アーメン



ちよつと
きゆうけい

私は、みことばに集中していますか。下の点をつなげて、絵を完成しましょう。黙想の助けになる3つの絵が完成します。完成した絵に色をぬって、みことばにもう一度集中しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
しりょう
準備する資料

かたてには みことば もう かたほうの てに いのり

すいようび

使徒 2章 42節

そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。

世界がもし100人の村だったとしたら、そのうち10人は成功した生活を送っていますが、残りの90人は「生活が苦しい、ことがうまく進まない」と思いながら生きています。私はどうでしょうか。「だめだな」と思いながら恐れていませんか。

ローマを福音化した初代教会の信徒は、世の中に認められるような優れた能力があったり、力を持っていた人々ではありませんでした。当時、福音を伝えれば死刑になる法律までありました。けれども、神様の願いである福音が伝えられる働きに大胆に挑戦したのです。また、使徒たちの教えに従って、福音のみことばをともに分かち合い、福音が伝えられることに集中して祈りました。それから約200年がすぎて、ローマ全体が福音化される驚くべき証拠が現れました。

私が完ぺきにできることなど、なにひとつありません。しかし、いのちのみことばである神様がくださる力を受ければ、どんなことも成功する結果を得るようになります。片手にはみことば、もう片方の手には祈りを持って、勉強と学校生活に挑戦しましょう。神様の願いを心に入れて集中して挑戦すれば、神様の力が現れるでしょう。

きょうのみことば

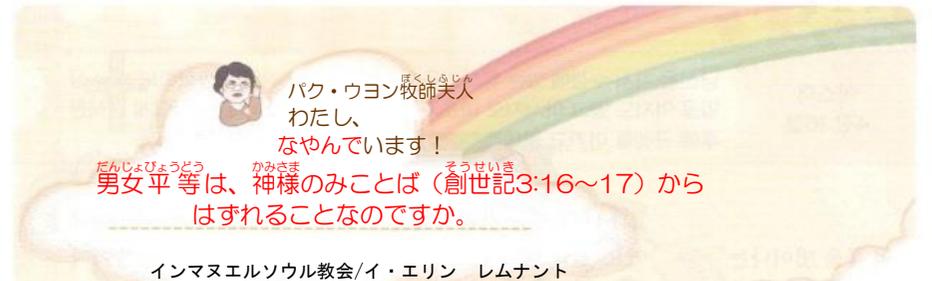
きょうのいのり

神様、初代教会の信徒たちのように、現場、教会を生かす神様のみことばを握って、祈るように、心を治めてください。そして、神様がくださる答えの証人となりますように、生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



4月には、どんな悩みを分かち合いましょうか。

なやんでいます



パウ・ウヨン牧師夫人
わたし、
なやんでいます！

男女平等は、神様のみことば（創世記3:16~17）からはずれることなのですか。

インマヌエルソウル教会/イ・エリン レムナント

性差別は、創世記3章以後、人間の罪によって生じたことです。神様のかたちである本来の人間は、男性と女性が平等に創造されました。創世記3章16~17節のみことばは「男性と女性の役割と機能が違う」（男性は支配するミッション、女性はその夫を助けるもの）ということです。みことばを詳しく見ると、特定の部分では女性がより一層力あるように創造されたと見ることができます。相手より力がなければ助けられないからです。

ところが、悪魔の誘惑を受けてみことばを離れ、罪を犯した後に状況が変わりました。女性は夫を恋慕って夫に支配される存在としてのろわれるようになったのです。歳月が流れて、みことばを回復できない男性は、のろいを招いた女性を差別しました。その苦しみが続り返されて、サタンの実体を知らずに、みことばをのがした女性もまた、男性に反発して、男女平等を主張し始めました。

今、多くの人が主張する男女平等は、サタンの合同作品です。むしろ神様に敵対することに使っているからです。創造の秩序である本当の平等（助け手）

を押しつけて、むしろ男性を無視したり、同性愛を後押しする根拠になっています。

福音は本来の人間に与えられた男女平等を知らせる答えです。ですから、福音の中に入れば、神様が造られた男女平等の秩序の中で、幸せになることができます。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



わたしの すいじゅんを こえる ほうほう

もくようび

エステル 6章 3~4節

エステルがアハシュエロス王の王宮に召されたのは、王の治世の第七年の第十の月、すなわちテベテの月であった。

すべての人が、自分の持っているものと、自分の力を基準にして考えます。このような私の考えの枠を抜け出すのは大変です。結局、私の限界を見つめながら考えて選択しながら生きていきます。聖書には、自分の限界と水準を越えた人々がいます。神様に会って、神様が造られた私を発見して、そのなかで神様がなさる天命を発見した人々です。

モーセに千人の長、百人の長、五十人の長を弟子としてたてるように言ったイテロ長老（出 18:1~17） エリコを通してカナン征服のための最初の門を開けるように助けたラハブ（ヨシュア 2:15~24） カルメル山の戦闘を助け、預言者100人を隠したオバデヤ（1列王 18:1~13） すべてのイスラエルの民が殺される危機が訪れたとき、死を覚悟して王に真実を知らせたエステル（エステル 4:1~16） が代表的な人物です。

神様は私にも天命をくださいました。私が、神様が造られた私を見つげるとき、天命を発見するようになるでしょう。また、神様が私を用いられる時刻表がくるようになります。天命を発見して用いられた人々のように、毎日、3つの今日（今日のみことば、祈り、伝道）を見つげながら、神様に会って、私の時を待ちましょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

きょうのいのり

神様、私の水準を超えて、神様の天命を成し遂げる人として呼んでください。ありがとうございます。神様の時を待ちながら、みことば、祈り、伝道に集中する霊的な力を増し加えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



私の水準を超えて、神様の水準で、神様の願い、世界福音化がなされています。私を邪魔するものを避けて、めいろを抜けて、神様の願いにゴールインしましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

Blank lines for writing the daily devotion.

じゅんび
しりょう
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



20 せかいの わざわいを ふせぐ レムナント

きんようび

1 ペテロ
2章 9節

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

これからこの世界に、どんなことが起きるのでしょうか。聖書には、このことについての正確なみことばが記録されています。

地震、飢饉、戦争、さまざまな問題が起きて（マタイ 24:1~14）、苦しみの時が来る（Ⅱテモテ 3:1~13）ということです。特に、暗やみがいっぱいである混乱した時代が来るために、ここにキリストの光が必要だとおっしゃっています。（黙示 12:1~9）

このとき、絶対に必要な人がいます。聖書が語る3つの奥義を知っている人です。

1つ目、王として来られたキリストを宣言してサタンを縛る人です。

2つ目、祭司として来られたキリストを宣言して、世の中のわざわいを防ぐ人です。

3つ目、預言者として来られたキリストを宣言して、地獄の背景を防ぐ人です。

ペテロの手紙第一には、このような人を王である祭司として記録されています。キリストの働きを代わりにする人、すなわち「キリストの大使」ということです。預言者エゼキエルのように立ち上がり、神様のみことばを預言しながら死んでいる現場を生かす挑戦をしましょう。世界のわざわいを防ぐキリストの大使であり、神様に喜ばれるレムナントだからです。

きょうのみことば

Blank lines for writing the lesson text.

きょうのいのり

神様、エゼキエルのように、わざわいにある世界にみことばを預言するレムナントとして呼んでくださって、ありがとうございます。私が行くすべての現場に、キリストの光を照らすように、霊的な力を増し加えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。
アーメン



ワーク

キリストの大使は、この世に福音の光を照らす者です。全世界がキリストの光で満たされるように祈りながら、あちこちに光を照らす灯台をおりがみで作りましょう。

キリストの光を放つ とうだい おりがみ

1 半分^{はんぶん}に切ったおりがみを真ん中^{まんなか}に合わせておきます

2 写真^{しやしん}のように、真ん中^{まんなか}におった部分を外側^{うへ}におきます

3 ひっくりかえして、上の真ん中^{まんなか}がとがるようにおり下^{した}はおりがみの真ん中^{まんなか}に来るようにおきます

4 写真^{しやしん}のように、下^{した}を上^{うへ}に一回^{いっかい}、右側^{みぎがわ}に一回^{いっかい}おきます

5 おった下^{した}の面^{めん}をおりがみた^たように中心^{ちゆうしん}に合わせておきます

6 柱^{はしら}になるように胴^{どう}の部分^{ぶぶん}を半分^{はんぶん}におり、上^{うへ}は屋根^{やね}になるように内側^{うちがわ}におれば、できあがり！

きょうのでんどう

あ ひと
会う人

じゅんが しりょう
準備する資料

Blank grid area for writing names and materials.

ふくいんで げんばを いかしましょう

使徒 3章 6節

すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」と言って、

もっとも福音を必要とする人が集まっている所があります。そこは、福音がない宗教人たちもよく知っていて、奥深くまで入り込んでいる現場でもあります。それは、福祉、経済、いやしの現場です。この現場は、福音がなければ絶対に生かすことはできません。なぜ福音でだけ、生かすことができるのでしょうか。

その答えが使徒3章に詳しく記録されています。神殿の「美しい門」に座っていた足のなえた人について考えてみましょう。彼が毎日、もの乞いするために神殿に連れて行ってあげた人がいたでしょう。また、彼をかわいそうに思っ、お金を渡した人もいました。しかし、その方法では足のなえた人の根本問題と必要を解決してあげることはできませんでした。彼にとって本当に必要だったのはたましいの救いでした。そのとき、ペテロを通して「イエス・キリストの御名」、福音を聞くようになりました。このとき、足のなえた人が立ち上がって歩きながら神殿に入っていく、神様を賛美するようになりました。

このように、福音は人の力では解決できない根本問題を解決する答えです。今日からペテロのように、福音が最も必要な福祉、経済、いやしの現場のために祈りましょう。この祈りをする人を通してそこに福音を伝えて生かす、伝道者になるように導いてくださるでしょう。

きょうのみことば



きょうのいのり

神様、私をペテロのように、伝道者として呼んでくださってありがとうございます。福音がいちばん必要な福祉、経済、いやしの現場のために祈る心を先にください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



知恵を うけよう

生活に必要な知恵を知って、研究しましょう。

RUTC

Remnant Unity Training Center レムナント共同体訓練場

RUTCとは「レムナントを育てて訓練させる場所」です。これは、旧約時代からいまで、続けられてきた聖書の重要な運動が進行される場所です。RUTCは4つの単語の頭文字をとった名前です

<p>R (Remnant) 医学用語でも使われる単語です。「ごみ」という意味を持っています。しかし、聖書では「神様が残された者」という意味で、重要に使われています。</p>	<p>T (Training) 神様に24時間集中することができる方法を実際に訓練させるという意味を含んでいます。</p>
<p>U (Unity) 神様とともにいるとき (With) 出る力はちがっています。この力を持っている人がひとつとなる (Oneness) 訓練をするという意味を含んでいます。</p>	<p>C (Center) レムナントたちが集まって、神様とともにいながら、神様に集中するために必要な場所ということばです。</p>

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび 準備する資料

Blank grid area for notes under 'きょうのでんどう' and 'あひと会う人'.

Blank lined area for notes under 'じゅんび準備する資料'.